

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	江崎グリコ株式会社	事業所名	関東グリコ株式会社 北本ファクトリー		
取組措置		具体的取組措置	H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	江崎グリコの環境方針を理解し、環境取り組みを運用していること。 低燃費車導入状況を確認する。	○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出 確認	委託業者に準備を要請し、次年度から確認していく。	○	○	○
02	モーダルシフトの推進 ----- ()	長距離輸送について、極力鉄道や船舶輸送を行なうことでCO2の削減を図る。	○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	委託業者より定期的の実績データを送付してもらうことで排出量を把握する。	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	パレット輸送に適した容積や高さへの見直しを都度実施する。	○	○	○
04	積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	製品設計における環境配慮として新製品やリニューアル時に検討、実施する。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	事前に予定している輸送物量を連絡することで物量に応じた適正な車両確保に努める。	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 ----- (01) 混載便利用の取組	効率的な混載方法を検討し確立する。	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 ----- (02) 他者との共同輸配送の取組	他社との共同輸配送・混載取組みを推進する。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	定期的に開催している物流会議での要請や書面による案内を実施する。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	例年、夏季前に車両調査(サイズ・冷蔵対応・温度記録等)を実施しており、その時期に合わせて低燃費車使用台数を確認項目に組み入れる。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	2ヶ月に1回、定例会を実施 実施状況を確認する。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	お得意先様からの発注の締め時間を設け、翌日の配送する車両の確保及び配送がスムーズに行われるよう努める。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	これまで配送時の最小数量ロットルールがなかったため、2015/1より5ケースルールを策定して運用を続けている。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	配送ルートの変更及び配送時間をずらすなどにより配送効率の向上に努める。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	荷の積み下ろしを迅速的に、計画的に行い、トラックの発着予定時刻の厳守を推進する。	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	物流業務を事業者へ委託することで、物流業務の効率化に努める。	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	従来より全国への配送のため適正在庫拠点に保管場所を業者に委託して運用している。	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	10t車中心の輸送体制にトレーラーなど大型車両投入を検討し、一回あたりの輸送物量を増やし、結果輸送回数の削減を検討している。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	2ヶ月に1回、定例会を実施。議題に組み入れる。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 （ ）	待機場所を利用することで、周辺道路での路上駐車を防止する。	○	○	○
---------------------------------------	-------------------------------	---	---	---